

ネットワークソフトウェア技術を学ぶグローバルPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2024年02月19日 ～2024年02月27日	ベトナム	ドンア大学 明志科技大学	・電子情報システム学科、情報工学科 ・学部2年生、学部3年生、学部4年生	(芝浦工業大学) 学生5名、学生バイト1名、 教員2名 (ドンア大学) 学生22名、学生バイト2名、 教員4名、職員1名 (明志科技大学) 学生6名、教員2名	三好 匠(電子情報システム学科)、 福田 浩章(情報工学科)



図1 ドンア大学外観

情報工学科と電子情報システム学科共催のネットワークソフトウェアに関するグローバルPBLを実施した。開催校であるベトナム・ドンア大学のほか台湾・明志科技大学も参加し、3か国3大学の国際PBLとなった。本学から5名(電子情報システム学科2名、情報工学科3名)、ドンア大学からは22名、明志科技大学からは6名が参加し、1チーム5～6名で6チームの活動となった。学生たちは、インターネットで接続された複数のコンピューティングデバイスとセンサ類を使って動作する情報通信システムの開発を行った。まず、1/23より3大学でオンラインで活動を開始し、1/29にはアイスブレーキングの後にチームごとに開発するシステムについての議論を行った。2/19からはベトナム・ダナンに集まり、フェイス・トゥ・フェイスでのシステム開発を実施した。本学学生は2年生が中心であり、活動開始直後は技術的な知識不足のため活動に不安を感じる学生が多かったが、現地でのシステム開発を通じて積極的なチーム活動が展開され、最終的には新しい発想とクラウド技術を応用した素晴らしいシステムのプロトタイプ実装が達成された。



図2 グローバルPBL開始



図3 チーム作業



図4 ソフトウェア開発の様子



図5 最終プレゼンテーションの様子



図6 Do Sinh副学長の講評



図7 ホイアン文化交流ツアー
(SIT & MCUT)